



2022年5月13日

各 位

会社名 石光商事株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 石脇 智広  
 (コード番号: 2750 東証スタンダード)  
 問合せ先 管理部門長 奥野 裕二  
 (電話番号 078-861-7791)

## 2022年3月期 通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2021年11月12日に公表いたしました2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)通期業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年3月期通期業績予想値と実績値との差異(2021年4月1日~2022年3月31日)

## (1) 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	45,692	1,107	1,121	646	83円81銭
実績(B)	46,729	695	793	532	69円10銭
増減額(B-A)	1,037	△411	△327	△113	—
増減率	2.3%	△37.2%	△29.2%	△17.5%	—
(ご参考)前期通期実績 (2021年3月期)	40,512	910	837	469	60円95銭

## (2) 個別

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	39,566	537	365	47円35銭
実績(B)	40,974	331	175	22円71銭
増減額(B-A)	1,408	△205	△189	—
増減率	3.6%	△38.3%	△52.0%	—
(ご参考)前期通期実績 (2021年3月期)	36,251	607	307	39円87銭

## 2. 差異の理由

個別業績につきましては、コーヒー相場高騰等による仕入価格上昇の一部を販売価格引き上げに繋げたことに伴い、売上高は緩やかながら前回予想を上回りました。また、利益面につきましては、コーヒー相場が高騰した後、高値が継続して利益率を圧迫、加えて想定以上の急激な円安及び海上運賃の高騰等もあり、販売価格が原価の上昇をカバーしきれず、利益率の低下につながりました。その結果、利益は前回予想を下回りました。

なお、連結業績につきましては、個別業績の理由と概ね同じであり、子会社において在庫評価を当社の会計処理に統一するにあたり、コーヒー相場高騰の影響がより大きく表れたものであります。

以 上